

自己改革の取り組みと成果

JA遠州中央は、自主・自立の協同組合として、自ら改革に取り組んでいます。一方、政府は農業の成長産業化・競争力の強化を掲げて農協改革を進めていますが、その施策は必ずしも生産現場の声を反映しているとは言いきれません。

改革の取り組みは、組合員の皆さまに評価いただいて初めて成果となります。この資料では、これまでの当JAの取組状況について報告します。今後も、自己改革を進めるとともに、お伝えするよう努めてまいります。

生産資材価格の引き下げと低コスト生産の支援

「生産コストの削減」

取組内容

当JAでは、仕入業者の選定やスケールメリットを生かした取引先との交渉を行ない、生産コストの低減に努めています。

肥料では、遠州中央独自に推奨する銘柄に集約しました。仕入れる肥料のロットを増やすことで、スケールメリット（規模の経済効果）を受けやすくし、価格の引き下げを実現しています。

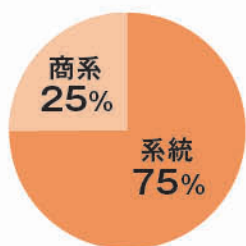
農薬では、仕入れ業者ごとに、各品目の仕入れ価格の提示を求め、条件が有利な取引先を選定することで価格の引き下げを実現しています。

また、組合員の声をもとに、営農指導員が中心となって、茶樹に使用する肥料「遠中サマーコート」の成分や製造方法を見直し、リニューアルしました。それにより、価格を引き下げることができました。

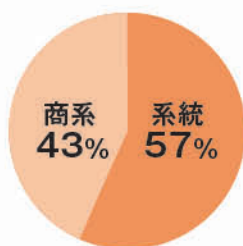


今後も競合する店の価格調査を行ない、価格交渉を強化することで、農業の生産コスト引き下げに貢献します。

平成28年度
肥料仕入れ先



平成28年度
農薬仕入れ先



仕入れ業者はJAグループからの系統仕入れに限らず、仕入れ条件を見定めた上で業者選定をしています。

成果

平成28年度 **価格引き下げ**を実施しました。

生産資材について、農薬46品目、肥料16品目を特別価格として引き下げました。平成28年度肥料売上は前年と比較し、12,760袋増加するなど、生産者から取り組みへの一定の評価を得てきました。

【対象肥料】

最大値下げ率16.9%
平均値下げ率 8.7%

【対象農薬】

最大値下げ率27.3%
平均値下げ率16.1%